

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 杜の里

(ユニット名)

こもれび

記入者(管理者)

氏 名

上岡 益子

評価完了日

平成 19 年 10 月 5 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月2日

【評価実施概要】				
事業所番号		3870105487		
法人名		医療法人 福井整形外科・麻酔科		
事業所名		グループホーム 杜の里		
所在地		松山市鷹子町185番地1 (電話) 089-955-6667		
管理者		上岡 益子		
評価機関名		特定非営利活動法人 JMACS		
所在地		松山市三番町六丁目5－1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日		平成19年10月18日	評価確定日	平成19年12月2日
【情報提供票より】 (平成19年10月5日事業所記入)				
(1) 組織概要				
開設年月日		平成17年12月20日		
ユニット数		2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数		18 人	常勤	13人, 非常勤 5人, 常勤換算 14.5人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃 (平均月額)		40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金		有 (円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費		朝食	円	昼食 円
		夕食	円	おやつ 円
		または1日当たり 1,200 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年10月5日現在)				
利用者人数		18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1		2 名	要介護2	6 名
要介護3		3 名	要介護4	4 名
要介護5		2 名	要支援2	1 名
年齢	平均	84.7 歳	最低	75 歳
			最高	96 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)		指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)		短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし		医療連携体制加算		

[外部評価で確認されたこの事業所の特徴]	
●職員は、食材の中からどのようなお料理ができるかということ等、利用者と相談しながらすすめておられ、「おいしいもの」を作ることを心がけておられる。 ●事業所では、利用者が入浴をされるごとに、その都度お湯を入れ替えておられる。入浴時、リラックスしながら職員とゆっくりお話できることを楽しみにされている方もおられる。 ●運営者は、職員の研修を推進されており、県GH協議会が主催する研修等、外部研修に積極的に出席をされている。又、管理者は、職員が資格取得される折にはサポートもされている。事業所では、介護計画について研修を行い、全職員で知識を深められた。	
[質向上への取組状況]	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)	
・前回の評価結果を受けて「地域との交流」「職員個々のスキルアップ」等に取り組まれた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)	
・ミーティング時等、職員が集まる機会に日々を振り返りながら全職員で自己評価に取り組まれた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)	
・運営推進会議時、出席者に事業所の日々の様子について報告をされたり、行事への協力についても呼びかけておられる。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)	
・毎月発行される「杜の里だより」では、事業所の行事の様子や利用者の暮らし振り等を写真入で載せておられる。又、利用者の日常生活の様子については、個別に便りを作成し伝えておられる。	
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)	
・事業所前の道路の掃除や地域の一斉掃除の折には、お手伝いをされている。11月には、中学生の職場体験の受け入れも予定されている。	

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			スタッフ一丸となって地域に溶け込むことを念頭に置き取り組んでいます。その一環として、たくさんの地域の方々に杜の里のことを知って頂くこと・杜の里に来て頂くことを目標に掲げて、5月に「杜の里バザー」を開催しました。		今後、地域密着型サービス事業所としての新たな理念をスタッフ全員で作りたいと思っています。
			(外部評価)		
			「あせらず、あわてず、あきらめず」を基本理念に掲げ、利用者のその人らしい生活を支え、笑顔あふれる和やかな暮らしを支えていけるよう取り組まれている。	※	事業所が地域の中でどのようなことを目指していくのか、ということを理念に盛り込んでいけるような取り組みが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々の取り組みの中で迷った時は、基本理念に杜の里の大事な思いが集約されていることを伝えています。		今後のミーティング時にスタッフ全員で理念を作り、取り組みたいと思います。
			(外部評価)		
			理念についてミーティング時に話し合われたり、日々の会話の中でも話されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			毎月発行している「杜の里だより」を公民館には掲示させて頂き、近隣の方には配布しています。また、ホーム内には、基本理念を掲示しています。		地域の方々には、今後「杜の里だより」や運営推進会議などで繰り返しお伝えしていきたいとおもいます。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) バザーの時は、近隣のスーパーや銀行、薬局、公民館にチラシを掲示して頂きました。また、近隣の方のご自宅にも配布しました。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内の福祉講座（落語）・盆踊りに参加したり地域の文化祭に参加しています。秋祭りには、町内の神輿や子供神輿の訪問などを通じて交流を深めています。		今後もさらに地域の方との交流を深めながら、気軽に立ち寄って頂けるようなグループホームにしたいと思っています。
			(外部評価) 事業所前の道路の掃除や地域の一斉掃除の折には、お手伝いをされている。11月には、中学生の職場体験の受け入れも予定されている。	※	事業所の近隣に学童保育の建物があり、日々聞こえてくる子供達の声に興味を示される利用者もおられる。事業所では今後、利用者が子供達と触れ合えるような機会作り等についても、検討していきたいと考えておられた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 包括支援センターを通じて、町内だけでなく隣接地区の方の集会において「認知症の方々のケア」をテーマに事例発表をさせて頂く機会がありました。		民生委員の方や町内の福祉部の方と連携を取りながら、福祉に関わる様々な相談をして頂けるような事業所になりたいと思っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 昨年の外部評価の結果を基に事業計画に反映させ、事業所全体として取り組んでいます。		外部評価は、行政の实地指導とともに重要だという認識の下にミーティングでも繰り返し意義を伝え取り組みたいと思っています。
			(外部評価) ミーティング時等、職員が集まる機会に日々を振り返りながら全職員で自己評価に取り組まれた。前回の評価結果を受けて「地域との交流」「職員個々のスキルアップ」等に取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			昨年の外部評価の結果を報告し、よりよいGHになる べく地域の方や行政の協力を得ながら取り組んでいま す。また、スタッフから地域の方への要望も汲み上げ てお伝えし、より良い会議になるように努力していま す。		地域と杜の里、双方の意見交換の場として、今後もさ らに活発な会議になるよう心がけたいと思っています。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、出席者に事業所の日々の様子につい て報告をされたり、行事への協力についても呼びかけ ておられる。		今後は、議題等に応じて消防署、交番の方にも参加い ただけるよう、呼びかけていきたいと考えておられ た。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			実地指導時や必要に応じて、困難事例を相談しアドバ イスを頂いています。		
			(外部評価)		
			ご家族からの相談ごと等について、市の担当者と相談 するようなこともある。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			ミーティング時に、資料を活用しながら勉強していま す。また必要に応じて、具体例を挙げてスタッフ全員 の理解を深めるように努力しています。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティング時に、資料を活用しながら勉強していま す。言葉や金銭も該当することなどを具体的な事例を 挙げてスタッフ全員の理解を深めるように努めていま す。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)		
			契約時は、時間をかけて具体的に説明しています。重度化した場合の対応や医療連携体制加算のことは、説明し同意を頂いています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			入居者さんそれぞれのサインを汲み取ったり、ご家族からお聞きしたりして、思いに応えるよう努力しています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価)		
			毎月、日々の暮らしの報告を兼ねて「生活の様子」と「杜の里だより」を送付しています。ご家族の面会時には、口頭でお伝えしたり、必要に応じて連絡をとっています。		
			(外部評価)		
			毎月発行される「杜の里だより」では、事業所の行事の様子や利用者の暮らし振り等を写真入で載せておられる。又、利用者の日常生活の様子については、個別に便りを作成し伝えておられる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)		
			ご家族には訪問時に必ず声かけをし、気軽に話して頂けるような関係作りを心がけています。また、お聞きしたご希望に関しては、迅速な対応を心がけています。		
			(外部評価)		
			運営推進会議の機会に、ご家族等の意見や要望も聞いておられる。ご家族の来訪は頻繁にあり、ご家族同士が顔を合わせる機会が多くある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			ミーティング時や個別に機会を設けて、要望や意見を出せるよう気を配っています。出来る限り、働きやすい環境になるよう、長く勤めて貰えるように心がけています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			外出行事や他院通院、お墓まいりなどの際は、必要に応じてスタッフの配置を通常より多くしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			基本的にユニットのスタッフは、固定しています。新しいスタッフが入る際は、入居者さんに紹介しています。		
			(外部評価)		
			職員のチームワークがよく、職員の希望を聞きながら勤務ローテーションを組まれている。病院の受診等は、両ユニット同士で協力されており、利用者、職員が顔馴染みとなっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			スタッフ個人の希望も取り入れながら、参加してもらっています。常勤・パートの区別はありません。研修参加後は、ミーティング時に報告をして情報の共有を図るとともに、参加の意義を伝えてもらうようにしています。		
			(外部評価)		
			運営者は、職員の研修を推進されており、県GH協議会が主催する研修等、外部研修に積極的に出席をされている。又、管理者は、職員が資格取得される折にはサポートもされている。事業所では、介護計画について研修を行い、全職員で知識を深められた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			愛媛県GH協会の「相互評価事業」に参加し、他GHや他事業所の方とも情報交換に努めています。隣接地区の方々との交流にも参加して地域の方や他事業所の方と交流を図っています。		
			(外部評価)		
			相互評価を実施し、同業者との交流もすすめておられる。事業所では、運営推進会議の取り組みを他の事業所に報告するような予定もある。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			ストレスや悩みについて、日常や個別の面談時に把握するように努めているが、まだ充分ではないかも知れない。今後、さらに心がけたいと思う。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			スタッフ個人の希望等も考慮しながら、資格取得に向けた支援・評価の体制も整えています。また、今後もさらに整備する方向で検討しています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			スタッフ全員で、生活のいろいろな場面で声かけし不安を取り除く支援をしています。緊急での入居された際も、出来るだけ安心して生活して頂けるよう努力しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 緊急での入居にも対応し、ご家族の不安や負担の軽減に努めています。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人とご家族の不安や負担の軽減につながるよう心がけています。様々なサービスも相談に対応が出来るように他職種の方との連携にも努めています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) やむを得ず、急遽入居になった方には、ご家族や担当のケアマネジャーさん等に何度か訪問してもらい、安心感を持って生活して頂けるように配慮しています。 (外部評価) 入居前には、利用予定者の方を訪問し、お話をされたり、又、入居間もない間は、ご家族にも頻繁に足を運んでいただけるよう働きかけておられる。入居時には、ご家族も一緒に食事を摂っていただけるよう声をかけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) お祭りやお餅つき、大掃除などの昔からの生活に関わる事を一つひとつスタッフが教えて頂く場面を作るようにしています。 (外部評価) 利用者が、日常生活の中の悩み事等について職員に思いを打ち明けられることもある。職員は、利用者のお話に耳を傾け、利用者同士の関係等、誤解のあるときには、解決に向け、さりげなく仲介をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 食事摂取量の低下した入居者さんには、ご家族にご本人の好きな料理や飲み物をお聞きしたり、持参して頂きながら支援しています。スタッフでは埋めることの出来ない心のケアは、ご家族に依頼して入居者さんを共に支えたいと思っています。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人の思いをご家族に伝え、それがきっかけとなり念願のお墓まいりにご家族と共に行くことが出来た入居者さんがいらっしゃいます。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自宅からの継続で週2回、美容院に通っている方もおられます。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者さん同士の関係作りを図るように努めています。入居者さん同士で、陰湿な空気になりそうな時は、スタッフが間に入るようにしています。耳の遠い入居者さん同士の会話の時は、スタッフが通訳のように間に入っています。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 自宅に戻られた後も、ご家族の希望に応じて訪問介護事業所の紹介等をするなどして支援しています。近くにいられた時は、立ち寄って下さるご家族さんもおられます。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			まず、ご本人の希望、その次にご家族の同意、の順で意向を尊重するよう配慮しています。		
			(外部評価)		
			24時間生活変化シート等、センター方式の様式を活用し、利用者個々の生活に対する思いの把握に努めておられる。	※	管理者は、活用できるようなシートを増やし、個々のアセスメントの充実を図っていきたいと話された。又、日々の記録についてもさらに工夫を重ねていきたいと考えておられた。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			センター方式を活用し、ご家族や利用していた福祉サービスの職員さん等に聞き取りしています。また、ご本人からも時間をかけてお聞きするよう努めています。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			センター方式を活用しながら、複数のスタッフで情報の共有に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			日常の生活の中からアセスメントしながら、スタッフの気づきや意見も大切にしながら取り組んでいます。また、ご本人やご家族が参加される場合もあります。		ご本人・ご家族ともご相談しながら、一人ひとりに合わせたプラン作りに取り組んでいます。
			(外部評価)		
			ご本人、ご家族の希望を聞き取り、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ケアプランは最長でも3ヶ月とし、体調の変化等を考慮しながら、必要に応じて見直しています。		
			(外部評価)		
		ご本人の退院時等、状態に変化のあるような時には、随時見直しを行っておられる。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人ごとの記録や・日誌、申し送りノートを活用しながら、スタッフ全員が情報を共有できるようにしています。		スタッフの「気づき」をケアプランに生かせるように取り組みたいと思っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			母体病院への週3回のリハビリ通院を支援しています。また、体調の変化やご家族の希望に応じて、受診先の変更にも臨機応変に対応しています。		
			(外部評価)		
		ご家族の希望があれば宿泊できるよう準備をされている。遠方のご家族が訪れた際には、皆で一緒に楽しく食事ができるよう配慮をされている。			

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて、町内会長さんや民生委員さん、地区の福祉部長さんと連絡を取り、町内放送の活用などの対策を講じています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 入居者さんそれぞれの必要に応じて、福祉用具の選定などの際に協力して頂いています。入居者さんの希望に応じて、美容師さんに訪問して頂いています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に毎回参加して頂くようになり、町内だけでなく隣接地区の情報も入手出来るようになり心強く思っています。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時点での主治医との関係を維持するよう心がけています。また、体調等配慮して適切な医療機関との支援体制を確保しています。		
			(外部評価) ご家族の事情によっては、職員が病院受診に同行されている。週1回、看護師の訪問があり、必要時には、医師の往診も行われている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 心療内科の医師と連携をとりながら、必要に応じてスタッフの相談に対応して頂いています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週1回、母体病院から看護師の訪問があり、スタッフが気軽に相談出来る関係を築いています。また、日頃の通院時にも相談できる体制をとっています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は、杜の里で洗濯物を持ち帰り、援助しています。その際に看護師さんや主治医の先生に状況をお聞きし、出来る限り早期の退院に向けた支援をしています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合の指針を作成し、ご家族・ご本人の思いの実現に向けた支援の体制を整えています。状態の変化にも臨機応変に対応するよう心がけています。		
			(外部評価) 入居時、ご本人ご家族に事業所で終末期まで暮らすことができることを伝えておられる。利用者の状態変化時には、その都度、母体病院の医院長が説明し、ご家族等の希望を聞かれ、その後、管理者が具体的な支援について話し合いされている。	※	さらに、重度化や終末期のあり方については、ご本人の意向の把握や関係する人たちでの話し合い、又、事業所内でも支援のあり方について勉強会等を重ねていられることが期待される。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 終末期の入居者さんについては、ご家族との細やかな話し合いをしています。また、ミーティング時には今後の取り組み方をスタッフ間でも情報共有するようになっています。		杜の里として終末期の方に何が、出来るのかまだまだ未知数ですが、本人と家族の思いの実現に向けてスタッフ全員で出来る限りの支援をしたいと思っています。その為に今後、より一層のスキルアップを図りたいと思っています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの生活が、スムーズに継続出来るように、日常生活の様子や特に配慮の必要な場面においての支援の方法を記録にしてお渡ししています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりに合わせた声かけの仕方や対応を心がけています。ミーティング時や必要に応じて、スタッフの意識の向上を図るように取り組んでいます。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者に対してやさしく対応をされている。		利用者への対応については、職員の方も意識の向上に努めておられるが、時に配慮を必要とするような場面もあるのではないかと感じておられる。今後も、職員で話し合いを繰り返し、ケアの質の向上に努めていられることが期待される。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりに合わせた対応をしています。言葉で意思表示出来ない方には、表情やしぐさで読み取るように日頃から心がけています。		
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの生活リズムや体調・希望に配慮して対応しています。		一人ひとりに配慮しながらも単調な生活にならないような取り組みをしたいと思います。
			(外部評価)		
			調査訪問時、居間でお茶を飲みながら時代劇を楽しまれている方がおられた。	※	職員は、さらに、利用者一人ひとりの暮らしを細やかに支えていけるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活スタイルを尊重し、おしゃれを楽しんで頂けるように取り組んでいます。週2回、馴染みの美容院に通っている方もおられます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 庭の畑で出来た野菜を使って一緒に食事を作ったり、食器洗いや食器拭きをして頂いています。食事は、スタッフも同じテーブルでお話しながら食べ、楽しい雰囲気大切にしています。		
			(外部評価) 職員は、食材の中からどのようなお料理ができるかということ等、利用者と相談しながらすすめておられ、「おいしいもの」を作ることを心がけておられる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望をお聞きしながらお出ししています。希望を伝える事の出来ない入居者さんは、ご家族にお伺いしたり、お好きな物を探りながらお出ししています。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 言葉で尿意や便意を伝える事の出来ない方は、サインを読み取りトイレでの排泄を支援しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースで、入浴して頂いています。夜間に入られる方もおられます。		
			(外部評価)		
			事業所では、利用者が入浴をされるごとに、その都度お湯を入れ替えておられる。入浴時、リラックスしながら職員とゆっくりお話できることを楽しみにされている方もおられる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中も畳コーナーで、休まれる方も何人もおられ、夜間もご本人のペースで就寝して頂くように心がけています。ご自分で決めた時間まで、毎晩時代劇や歌番組を観られる方もおられます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			台所仕事を得意とする方、草引きをして下さる方、野菜作りのアドバイスをして下さる方などそれぞれの得意なこと、出来る事をして頂けるように声かけしています。		スタッフが、気づいていない力を引き出せるような取り組みをしたいと思います。
			(外部評価)		
			畑で掘ったお芋を皆で食べておられる様子がうかがえた。利用者のお誕生日には、似顔絵入りのケーキでお祝いをされている。カラオケを楽しまれる方がおられる。	※	利用者の中には、身体状況等、外出がむづかしい方も増えておられる。事業所では、室内での楽しみごとを増やしていきたいと考えておられた。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金を持たれている方も複数おられます。美容院や買い物場面では、お金を払われる方もおられます。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			日々の生活の中から、希望をお聞きしながらそれぞれの方に応じて外出しています。月に数回は、外食やドライブに出かけています。		季節の移り変わりを感ずることが出来るように、今後いろいろな所に気軽に外出したいと思っています。
			(外部評価)		
		季節に応じてお花見やイチゴ狩りに出かけられたり、動物園など利用者の希望や状態に合わせてながら、外出の機会を作っておられる。			
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ご家族とお墓参りに行かれたり、ユニット全員で外出しています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			気がねなく電話をして頂けるように配慮しています。ご本人だけでは使用出来ない為、ご家族の希望で携帯電話をお預かりしている方もおられます。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に立ち寄って頂けるように心がけています。出勤前の7時過ぎに面会に来られるご家族もおられます。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束に関する勉強会を実施し、スタッフ全員の意識の共有に取り組んでいます。健康上の理由により、ベッド柵などの必要な方は、ご家族に説明し同意を得ています。		見直しを行い、順次ベッド柵をしないような取り組みも実施しています。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 安全の為、夜間のみ玄関を施錠しています。日中は、家に帰りたいと外に出る方は、付き添って外出し、タイミングを見て他のスタッフが車で迎えにいく対策をとっています。		地域の方の支援や協力も頂きながら、今後も「家に帰りたい」時は、寄り添うケアに取り組みたいと思っています。
			(外部評価) 玄関にはセンサーが設置されており、出入りの際には鳥の鳴き声がするようになっていた。又、玄関に網戸が取り付けられており、外の様子が見られるようになっていた。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中・夜間を通してリビングのテーブルで記録をするなどして、安全に配慮しています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤やハサミなど注意が必要な時など、一人ひとりの状況に応じて対応しています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリ・ハット報告や、事故報告などは、スタッフ間で共有し、またミーティング等で必要に応じて話し合いをしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 母体病院で心肺蘇生法を習ったり、緊急時の対応マニュアルを作成しています。ミーティング時に救急車の手配の仕方も繰り返し練習しています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 緊急時の避難の方法は、スタッフでシュミレーションし、現時点でベストと思われる方法を相談しています。近隣の方の協力を得られるように町内放送を活用できるようにしています。 (外部評価) 夜間を想定し、避難訓練を実施された。		消防とも連携をとり、入居者さんも一緒に避難訓練を実施する予定です。また、来年6月の町内の自主防災訓練にも参加したいと思っています。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 安全を優先する為、自由な外出を希望されないご家族にも、杜の里としての取り組みを理解して頂けるように説明し、見守って頂くように働きかけています。	※	さらに、利用者個々の状態等も踏まえて、一人ひとりが安全に避難できるような体制作りや訓練等に、継続的に取り組まれることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 言葉で伝える事の出来ない入居者さんの表情や体調の変化を見逃さないように、「いつもと違う」ことへの気づきを大切にしています。また、迅速な受診等も心がけています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの服薬ファイルを作成し、内服薬の把握に努めるとともに、服用の支援をしています。		服薬時には、複数のスタッフで確認をしています。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘から不穏になることも理解し、スタッフ全員で取り組んでいます。特に便秘がちな方には、日常的に牛乳を飲んで頂いたり、食物繊維の摂取にも気を配っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯磨きの声かけをしながら、一人ひとりに応じた口腔ケアを支援しています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の摂取状況を記録しています。体調不良時には、個別に詳細な記録をしながら情報の共有を図っています。		
			(外部評価) 便秘がちな利用者も多く、食物繊維を多く摂れるよう心がけておられる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 母体病院の支援も得ながら、情報収集をしています。日常的にペーパータオルを使用し、玄関先には、手指消毒剤を設置し予防も含めた対応を心がけています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾は漂白したり、日によっては日光消毒をしています。水回りの衛生には特に注意するようスタッフ全員で心がけています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 庭の一角には畑があり、プランターには季節を感じる花を植えています。また、玄関先には入居さんのご自宅から頂いた「金のなる木」が、来客をお迎えしてくれています。		ホームの前の道路を掃除することにより、隣近所の方とのふれあいを大切にしています。
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) お雛様を飾ったり、月見団子をススキと共に飾り、季節感を感じて頂けるように工夫しています。日々の生活の中でも心地良く感じてもらえるような音楽をかけたりして工夫を凝らすように努めています。		1年を通じて、リビングのテーブルやホーム内に季節の花を生けたり鉢植えを置いています。
			(外部評価) 共用空間は、自然の光を採り入れ、ゆったりとした造りとなっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングのソファや畳コーナーなど、思い思いの場所で、時には一人で、時には仲の良い人と過ごせるように工夫しています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			少しでも居心地の良いお部屋になるように使い慣れた物・馴染みのある品物を用意するように心がけています。仏壇を持ち込まれている方もおられます。		
			(外部評価)		
		利用者個々に、使い慣れた家具や好みのものを持ち込まれている。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			季節や天気、外気温、入居者さんの体調も考慮しながら、室温の調整をしています。		
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			玄関先に段差をわざと作り、段差を意識した生活をして頂く工夫をしています。車イスの方には、段差解消の為のスロープも設置出来るように配慮しています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			入居者さんの立場・目線に合わせて環境を整えるよう努めています。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関先にはベンチを置き、お茶を飲んだり畑の手入れをする際に一息つける場所になっています。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己 評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全員の思いや願い、意向を職員全員が確実に把握できていないように思います。更なる努力が必要だと思います。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 評価) 1 毎日ある ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	週3回リハビリ通院もあり、毎日とは来ていないと思います。長時間、ゆったり過ごすことは出来なくても、毎日少しずつでもゆったりと過ごす時間が持てるように心がけたいと思います。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの方が、それぞれのペースで暮らしていると思います。夜、希望の時間に入浴される方や、眠くて早めに夕食を摂りたい方には、その希望に添えるようにしています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの方の生き生きとした表情・笑顔を引き出すような支援が出来ていると思っています。が、表情は暗くなるときもあり、それがどのような時かを把握し少しでもその状況にならないような支援をしたいと思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外に出て行く方は、無理に止めずご本人が納得出来るまで行動して頂いています。どこかで、ご本人なりの心の決着をつけてから戻って頂く様にしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の急変があっても十分な対応出来る様に医療との連携が出来ています。また、予想されるリスクに対してある程度の準備は心がけています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の先入観・思い込みにより、状況に合わせた柔軟な対応が全ての方に出来ているとはまだ言えないと思います。状況や要望の変化に柔軟に対応出来るような支援を心がけたいと思います。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 評価) 1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	月に何度も訪問して下さるご家族とは、会話が出来ており不安や要望を話して頂き、信頼関係が出来ています。が、まだ全てのご家族ではないので今後もさらに信頼関係の構築に向けて努力したいと思っています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	回覧板を持って来て頂いたり、地域の方も時々訪問して下さいます。ご家族の意向もありますが、昔馴染みの方・近所の方などたでも気軽に訪問して頂けるようなグループホームを目指しています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ①大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通じて地域の方との理解やつながりは深くなっていると思います。また、地域のセミナーにも参加し、事例発表の場にも恵まれたことにより、多くの方の理解や支援の輪が広がっていると感じています。
98	職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの長所を活かし、短所を補い合いながら働けていると思います。杜の里が好きな職員が少しずつ増えていると感じています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医師の指示により食事制限のある方、思いを言葉に出来ない方、隣に誰か居て欲しいと思っているだろう方に対して、100%満足して頂く支援は出来ていないと思います。少しでもその方々に満足して頂ける場面を作れる様に努力したいと思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	全てのご家族の満足は得られていないと思いますが、希望をお聞きし、その希望に添えるように心がけたいと思っています。今後は、どのご家族にも満足して頂けるようにさらに努力したいと思っています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

杜の里は、入居者さんのことが大好きなスタッフによって支えられていると思います。自宅の庭に咲く花を持って来てくれたり、休日でも草引きや、花の手入れに来るスタッフ。休日に自宅で作ったお菓子を持って来るスタッフ。季節毎の外出時も、入居者さんのことを思って、多くのスタッフが休日返上で参加してくれます。「杜の里」が、大好きなスタッフがたくさんいることが何よりの自慢です。